

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果  
(公表)

公表： 令和6年3月4日

事業所名 みらいずプレイス すみのえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児童の年齢層が高いため、適切な距離をとることができるものの配置やスペースの確保を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		児童利用時には2名の配置と、社会福祉士など専門性を持った職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スケジュールやカレンダーの掲示など、視覚支援や構造化を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		児童受入前、退所後のミーティングや週1回の運営会議を通して改善点等検討しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を職員全員で共有し改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所のHPにて公開します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		評価を受けてはいるが、運営面や支援の質の向上など外部からの助言を受けながら運営しています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所連絡会、協議会(子ども部会)への参加および事業所内での研修を実施しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用時の様子やヒアリング内容等をチームで共有しさまざまな視点から分析を行い、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人独自のアセスメントシートを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもたちへの聞き取りを行い、それも参考に定期的な運営会議の中で立案・決定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラム実施後には振り返りを行い、改善に努めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		特に休日においてプログラムを変更し、企画や課外活動など平日では体験できない機会の提供を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の時間と集団の時間を支援目標に合わせて利用できるようにしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開所日には必ず情報共有や役割分担等の時間を設けています(30分程度)。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		開所日には必ず児童退所後に振り返りを行っています(1時間程度)。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録を作成しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画を半年ごとに見直しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		子どもたちの自立に向けた活動の組み立てや個別の支援を行っています。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		ケース担当者が参加し参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校行事等は保護者から共有してもらおうことが多いです。日々の活動の様子やトラブルについては学校と電話などで直接やり取りを行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在対応していないが、ニーズがあれば受け入れも検討していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		利用している年齢が高いため、該当する児童がいませんが、必要に応じて対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		事業所を選ぶ段階から(了承を得たうえで)必要に応じて情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所連絡会にて助言や研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の子ども食堂や民間の学童等との交流を行っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		事業所連絡会や自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭での様子の聞き取り、プレイスでの様子の共有を行っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		プレイス内で変化が見られた支援など共有するなどしています。		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に読み合わせを行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話、面談等を通して学校や家庭での様子の聞き取っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後実施を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった場合にはすぐに上層に報告し、対応を検討、改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		予定表の作成、周知等を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特定によって伝え方(視覚支援など)を変えるなどの工夫を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域お祭りに出店するなどイベントに参加しています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定し、職員へ周知を行っています	保護者へは今後書面を作成し周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の防災訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		人権研修および定期的なケース検討などの研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		必要な場合にはあらかじめ支援計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起こったその日に振り返りを行い、共有できるようにしています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果  
(公表)

別添資料11

公表: 令和6年3月4日

事業所名 み・らいずプレイス すみのえ 保護者等数(児童数) 16名 回収数 4名 割合 25%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3			1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2			2		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			1		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			3		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			1		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4					
	14	個人情報に十分注意しているか	4					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2			2		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			3		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	18	事業所の支援に満足しているか	4					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。